

SDGsにおける課題の解決に向けて

芝浦機械株式会社

2021年11月15日

外部環境変化と国内外の指針および動向

2050年CO2排出ゼロに向けた国策

今まで以上にCO2削減に関する取り組みが求められる

我が国の目標と各国目標

出所：2050年カーボンニュートラルをめぐる国内外の動き＜資料3＞（経産省）_2020.12

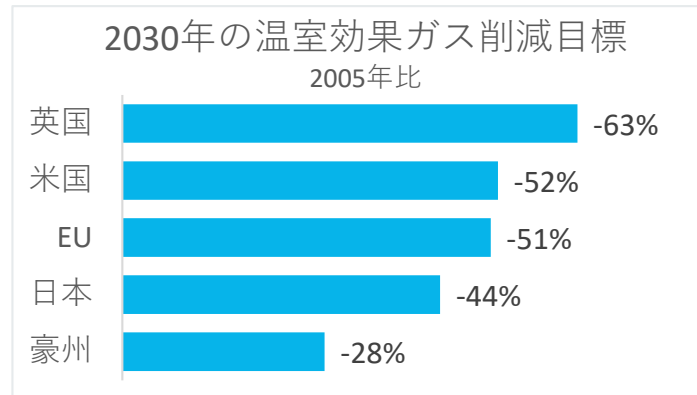
- **中期目標**：温室効果ガスの排出量を**2030年度までに26%削減**（2013年度比）
（位置づけ）技術制約、コスト等を考慮し、裏付けある**対策・施策の積み上げによる実行可能な目標**
- **長期目標**：温室効果ガスの排出量を**2050年までに80%削減**（基準年なし）
脱炭素社会を今世紀後半のできる限り早期、2050年にできるだけ近い時期に実現
（位置づけ）**将来ビジョン**。政策の方向性を示し、将来の予見可能性を高め、投資を拡大するための目標

→本年10月26日、臨時国会における菅総理の所信表明演説において、**2050年カーボンニュートラルを宣言**

各国比較		
	中期目標	長期目標
EU	2030年少なくとも▲55%（1990年比） ※欧州理事会（12月10・11日）合意 ※2013年比▲44%相当	2050年カーボンニュートラル ※複数の前提を置いた8つのシナリオを分析
英国	2030年までに少なくとも▲68%（1990年比） ※2013年比▲55.2%相当	2050年少なくとも▲100%（1990年比） ※一定の前提を置いた3つのシナリオを提示
米国	パリ協定離脱 → バイデン次期大統領は2050年までの GHG排出ネットゼロ を表明	
中国	2030年までに排出量を削減に転じさせる、 GDPあたりCO ₂ 排出量を2005年比65%超削減 （前者は今年の国連総会、後者は気候野心サミット 2020で習主席が表明）	2060年カーボンニュートラル （今年の国連総会で習主席が表明）

2050年カーボンニュートラルを宣言した国の同盟（Climate Ambition Alliance）に日本を含めて**121カ国とEU**が加盟
他、数カ国が2050年カーボンニュートラルを宣言している

企業がサステナビリティの実現に取り組む意義は益々増大している



**国
(政府)**

- 国際的な要求への対応
- 各種枠組み、法規制の動き
- 消費者意識向上の取り組み

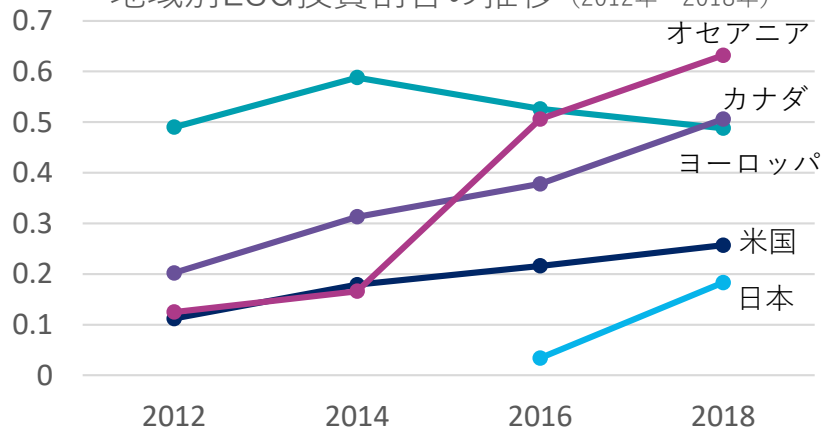
- 投資判断におけるESG思考
- 企業に対するESG情報要求
- 中長期的なリスク管理

投資家

消費者

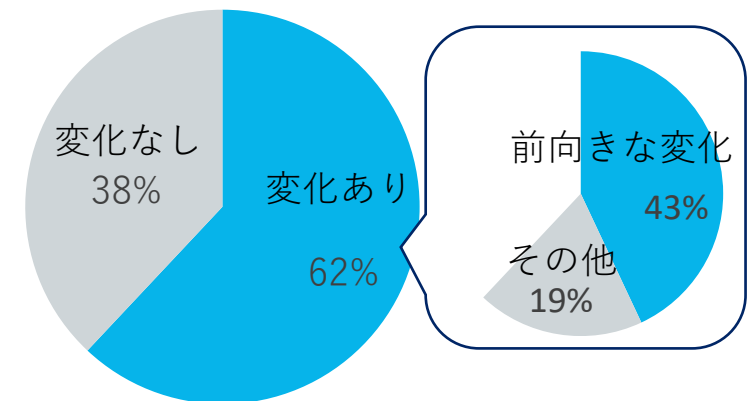
- 身近な気候変動体験
- 環境意識の高まり
- コロナ影響による意識変化

地域別ESG投資割合の推移 (2012年~2018年)



出所：ESG思考 (夫馬賢治著)

コロナ流行後の環境問題への意識や行動の変化



出所：公益財団法人 旭硝子財団：日本人の環境危機意識調査

芝浦機械の環境に対する取り組み

芝浦機械のサステナビリティ



芝浦機械は1938年の創業以来、産業の共創を通じて社会的課題の解決に向けた取り組みを続けています。2020年に制定した「新生『芝浦機械』長期ビジョン2030」のなかで、社会的課題の解決と企業価値の向上を両立していくことを定め、「価値創造企業」を目指し事業を展開しています。

SDGsが示す2030年までに解決すべき多くの社会課題は、芝浦機械のこれまでの歩み、目指すべき姿と方向性が一致しており、事業活動を通じた社会的課題の解決への貢献をより強化していくために、社会・環境、ステークホルダーの皆様が必要とされ、共に価値を創る企業を旨とします。

Technology

技術

- 温室効果ガスを全製品で削減する技術の推進
- 2020年度比で使用資源を減少させる技術の実現

Work Style

人

- サテライトオフィスの設置
- 働き方改革に向けた制度の見直し

Ecology

環境

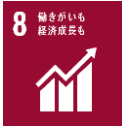
- 環境調和型製品の提供によるCO₂削減貢献量拡大
- 廃棄物排出原単位削減

SDGsを起点に 芝浦機械グループが取り組む社会課題の解決

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



飢餓対策



ワークライフ
バランス



ヘルスケア



水



エネルギー



製造責任



気候変動



海



陸

開発分野

食品

生産性

医療・安全

インフラ

脱炭素
(CO2削減)

低環境負荷

LCA

開発項目

食品包装材

自動化・ひと協働

自動運転

滅菌・滅菌
浄水

通信インフラ

創エネ

省エネ

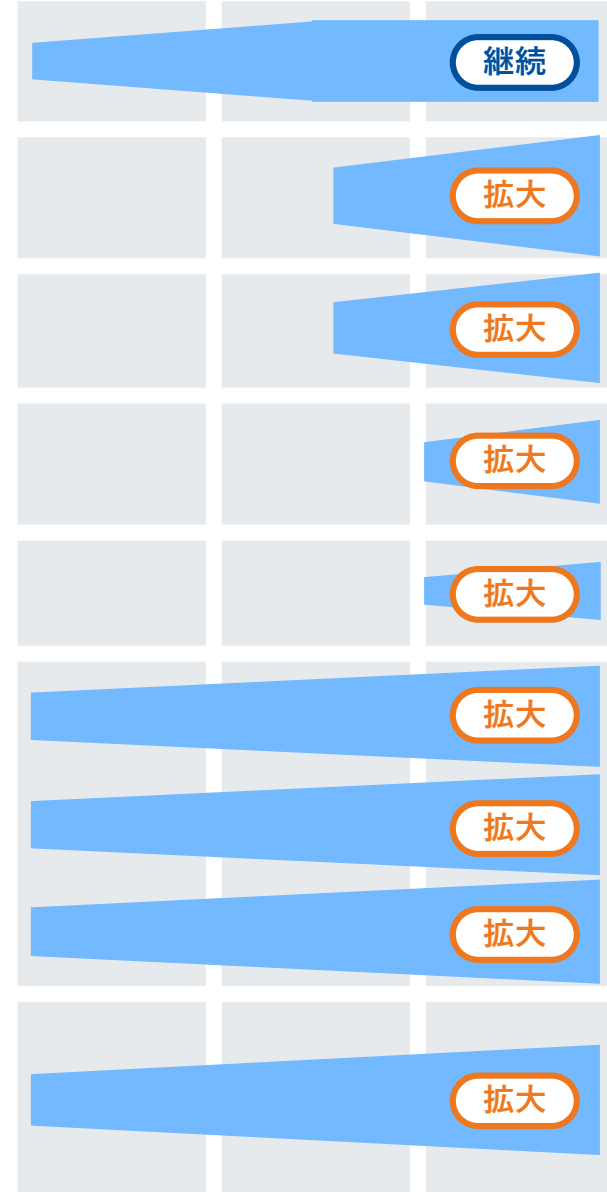
蓄エネ

3R

リデュース
リユース
リサイクル

芝浦機械グループの取り組み

過去 現在 未来



企業活動全体で取り組む全社活動

地球を守るための取り組み 芝浦機械の環境アクションプラン

LCA

脱炭素

「芝浦機械のCO2削減目標」 2030年に2013年比で50%以上の削減

基準年度：2013年度

地球温暖化の防止

CO2削減

取り組み項目	第2次環境アクションプラン 2025年度	長期目標 2030年度												
環境調和型製品（ECP）※の提供 <small>※3Rを考慮した「環境調和型製品設計ガイド」に基づいて設計された製品</small>	<p>CO2排出削減量</p> <p>21千t削減</p> <p>CO2 (千t)</p> <p>13 17 18 19 20 25 30 (年度)</p>													
工場の省エネ化	<p>CO2排出量</p> <p>原単位実績</p> <p>14千t削減</p> <p>CO2 (千t)</p> <p>31 17 18 19 20 25 30 (年度)</p>													
スコープ3の取り組み	環境負荷把握（含海外）	削減活動												
再生可能エネルギーの使用	使用量の7.5%超を太陽光発電	使用量の20%超を再エネ発電												
LCA (ライフサイクル アセスメント)	<table border="1"> <tr> <td>生物多様性保全</td> <td>ビオトープ、国内各工場・植林</td> <td>森林育成事業協調</td> </tr> <tr> <td>資源の有効活用 廃棄物排出原単位削減 (t/億円)</td> <td>2.0 (▲58%)</td> <td>1.2 (▲65%)</td> </tr> <tr> <td>化学物質の管理 化学物質排出原単位削減 (t/億円)</td> <td>42.5 (▲45%)</td> <td>40 (▲52%)</td> </tr> <tr> <td>グローバルなEMS※構築</td> <td colspan="2">外部インフラ調査、海外環境内部調査、海外工場環境リーダー育成</td> </tr> </table>		生物多様性保全	ビオトープ、国内各工場・植林	森林育成事業協調	資源の有効活用 廃棄物排出原単位削減 (t/億円)	2.0 (▲58%)	1.2 (▲65%)	化学物質の管理 化学物質排出原単位削減 (t/億円)	42.5 (▲45%)	40 (▲52%)	グローバルなEMS※構築	外部インフラ調査、海外環境内部調査、海外工場環境リーダー育成	
生物多様性保全	ビオトープ、国内各工場・植林	森林育成事業協調												
資源の有効活用 廃棄物排出原単位削減 (t/億円)	2.0 (▲58%)	1.2 (▲65%)												
化学物質の管理 化学物質排出原単位削減 (t/億円)	42.5 (▲45%)	40 (▲52%)												
グローバルなEMS※構築	外部インフラ調査、海外環境内部調査、海外工場環境リーダー育成													

※EMS：環境マネジメントシステム

地球を守るための取り組み グリーンマネジメント

LCA

脱炭素

生物多様性保全への取り組み

狩野川水系の河川清掃活動



相模川の清掃活動



富士山の植樹活動



<https://www.shibaura-machine.co.jp/sustainability/kankyo/community.html>

EMSの構築

海外生産拠点（上海・タイ・インド）で、環境マネジメントシステム（EMS）の認証を取得し環境活動を管理しています。



タイ工業区表彰

<https://www.shibaura-machine.co.jp/sustainability/kankyo/plan.html>

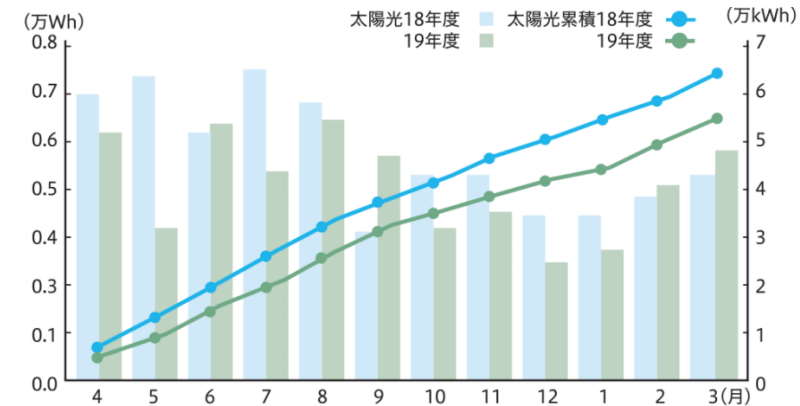
スコープ3の取り組み（サプライチェーン全体の環境負荷）

2019年度実績 ▶ 2020年度実績



<https://www.shibaura-machine.co.jp/sustainability/kankyo/kankyofuka.html>

再生可能エネルギーの活用



<https://www.shibaura-machine.co.jp/sustainability/kankyo/earth.html>

「TABLE FOR TWO」を通じて開発途上国を支援する

食堂でヘルシーな食事を1食とるごとに開発途上国に1食を贈るなどして、社員と開発途上国双方の人々の健康を同時に改善することができる「TABLE FOR TWOプログラム」に参加しています。

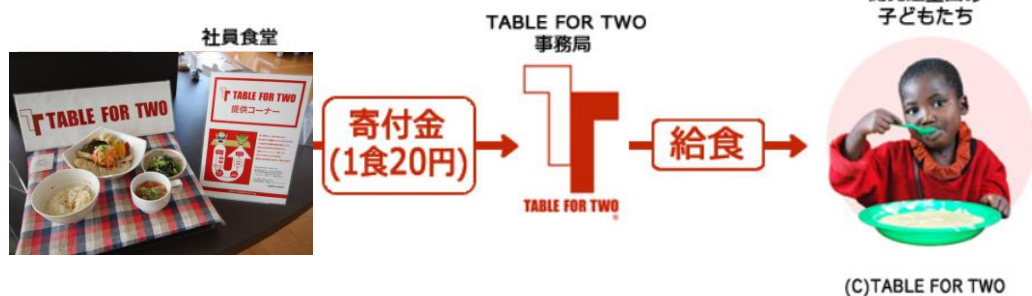
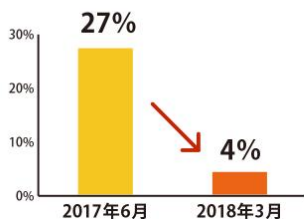
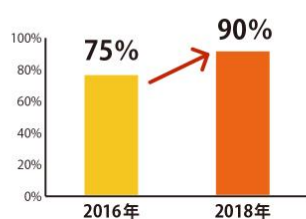


TABLE FOR TWO

健康状態の改善



教育の機会



学力向上

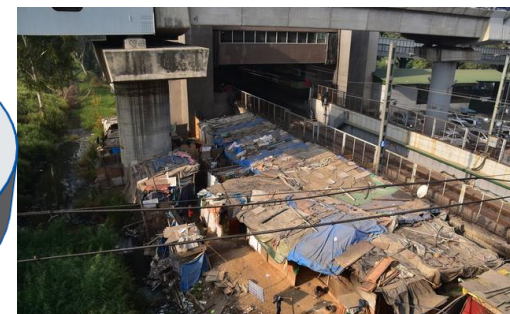
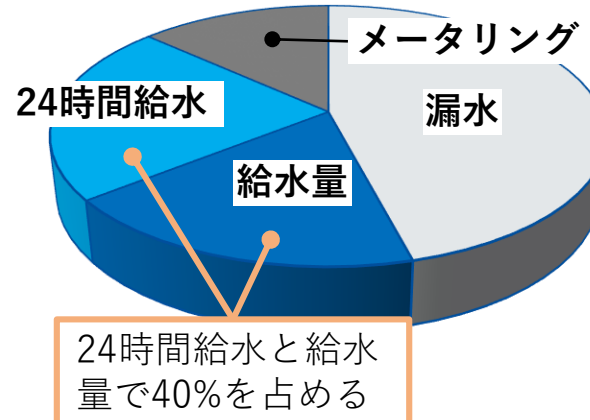


<https://www.shibaura-machine.co.jp/jp/sustainability/shakai/community/social.html>

海外拠点（インド）の地域貢献(寄付)※1

水インフラ問題を抱えるインド

インドにおける水道事業上の課題



トイレの故障や衛生面が問題
⇒健康面の問題

貯水施設建設支援



6万ℓの貯水施設の設置

トイレの設置改修



衛生問題の改善

※1 写真はイメージ図です。当社が支援した設備ではありません

当社は世界中で社会貢献しています。

ひとを育てる取り組み



蔵前理科教室への支援を通じて未来の科学者を育てる

子どもたちの理科に対する興味を呼び覚ますことを目的として（一社）蔵前工業会が全国で開催している寺子屋方式の理科教室「くらりか」への支援を通じて、未来の科学者たちを育てる活動を支援しています。



当社の講師を務め、子供たちが電気の性質について実際に目で体験し、仕組みを理解しながらモータを作るなど楽しく学びました。

<https://www.shibaura-machine.co.jp/jp/sustainability/shakai/community/culture.html>

中学生職業体験で未来のものづくりを支える

未来の「ものづくりの担い手」である子どもたちにとって望ましい勤労観、職業観を育てる体験活動の場を提供しています。近隣中学校の学生が体験学習に参加しました。



<https://www.shibaura-machine.co.jp/jp/sustainability/shakai/community/culture.html>

高校生に最先端のものづくりを伝え、技術者を育てる

ものづくりに欠かすことできない産業機械を広めるため地元の高校生に「最先端のものづくり」を教えています。



発展途上国の支援活動（ボランティア・寄付）

JAM静岡はボランティア活動として、カンボジアに小学校を建設をしています。当社はその活動に協力しており、2019年度の活動では地元の子供たちと協力してブランコを作りました。



被災地への支援 （ボランティア・寄付）

被災地の復興に向けた募金やボランティア

福祉施設への支援 （ボランティア・寄付）

福祉施設の皆さんがつくったパンの社内販売



当社は世界中で社会貢献しています。

事業活動を通じて取り組む SDGs課題の解決への貢献

芝浦機械の歴史／Episode ZERO

YouTube : [Movie-1](#) [Movie-2](#)

この動画には6件の重要なシーンがあります



00:01
TOSHIBA
MACHINE
Episode...



00:37
芝浦機械製作
所 設立



01:04
ホブ盤委員会
発足



01:09
世界最高精度
の歯車をつくれ



02:03
工作機械を起
点に、事業を
拡大せよ



02:54
時流を読み、
価値を創造せ
よ

新聞広告

1938年 創業 1940 1950 1960 1970 1980 1990 2000 年代

第1話 「芝浦。それは私たちの原点」

第2話 「世界最高精度の歯車をつくれ。」

第3話 「工作機械を起点に事業を拡大せよ」

第4話 「時流を読み、価値を創造せよ。」

工作機械

親歯車ホブ盤

(工作機械・機械遺産登録)

繊維機械

印刷機械

金型製作

押出成形機

射出成形機

ダイカストマシン

制御機器

超精密加工機

ロボット

「8つの技術プラットフォーム」

「8つの技術プラットフォーム」

基礎となる8つの技術プラットフォームを背景に、さまざまな先進の産業装置を開発・製造。長年培ってきた技術で最適なソリューションを提供。

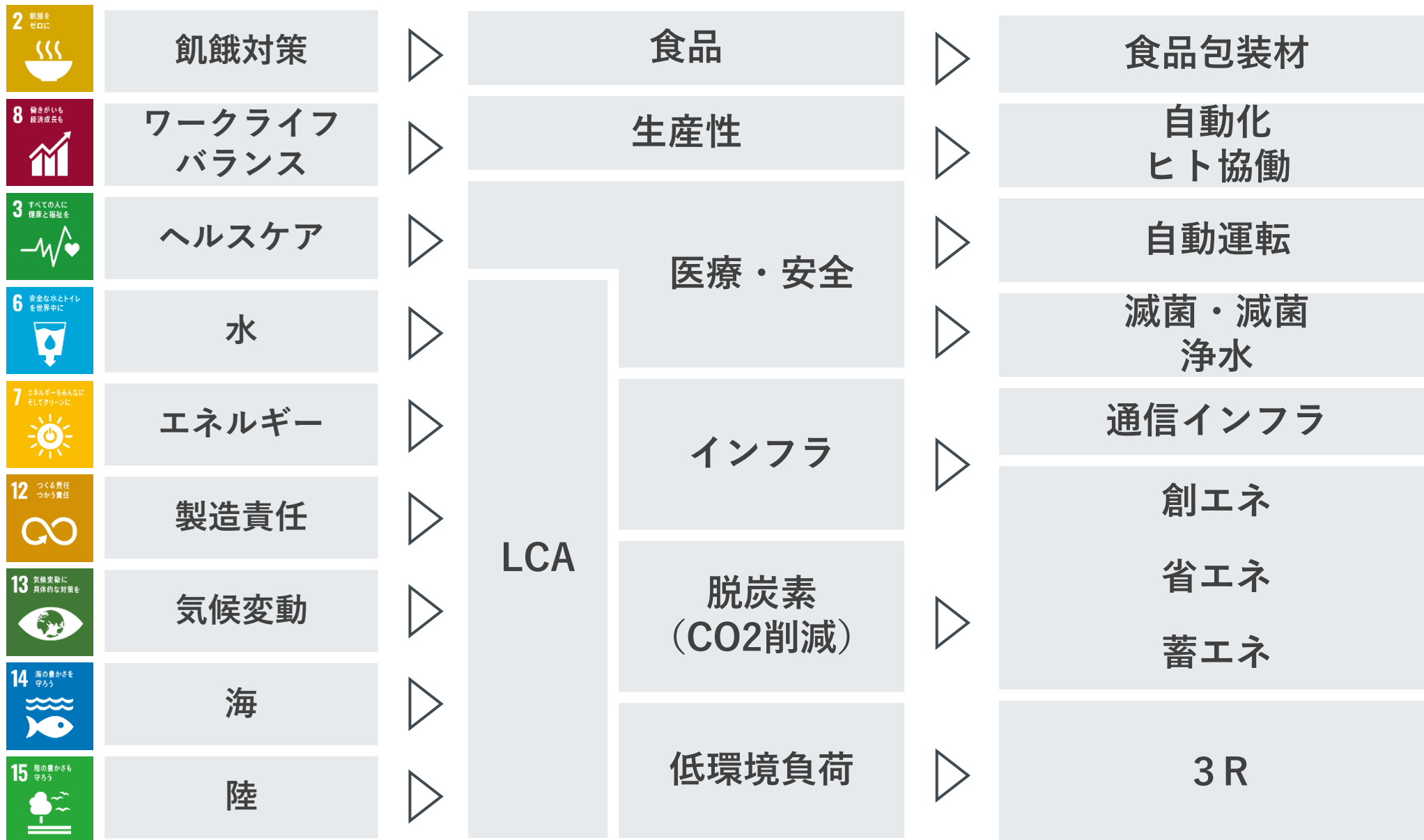


SDGsを起点に 芝浦機械グループが取り組む社会課題の解決



開発分野

開発項目



過去からの取り組み 自動車の軽量化への貢献

LCA

脱炭素

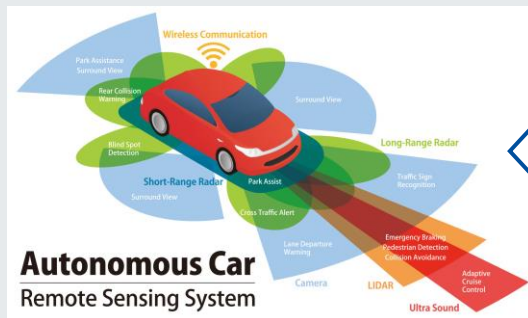


Shibaura Machine

自動車を軽くしてCO2排出量削減

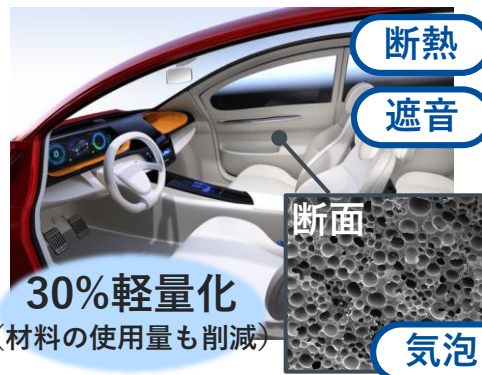
E V化 ≡ 重量増加

機能向上 ≡ 重量増加



樹脂成型（発泡成形）

ドアトリム（ドアの内側）



アルミダイカスト

サブフレーム

※パワートレインを支える部品



射出成形機



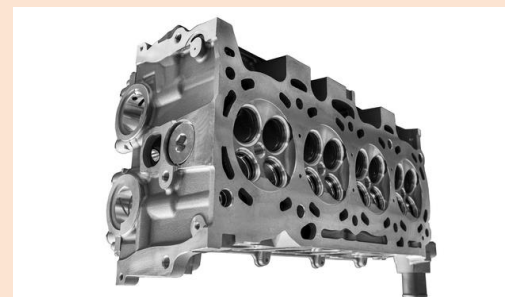
樹脂部品の
軽量化



ダイカストマシン



アルミ部品の
軽量化



自動車の走行時におけるCO2削減により脱炭素社会に貢献してきました。

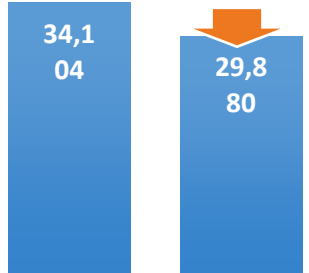
過去からの取り組み 豊かな食生活とフードロス削減への貢献



膨大な量のフードロス

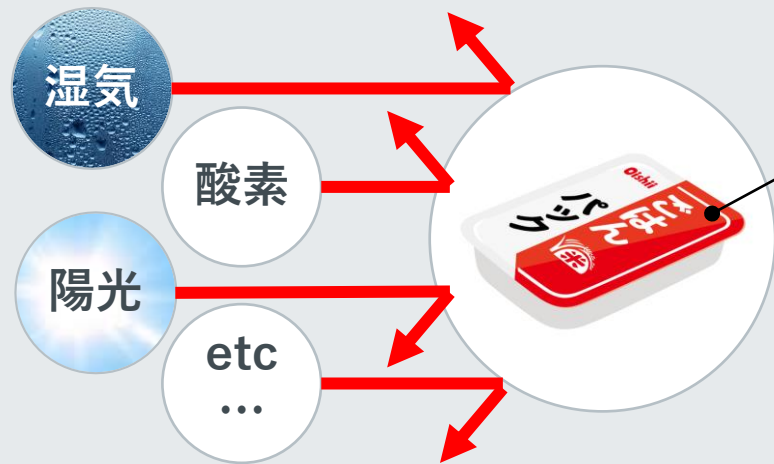
家庭系ごみ排出量

(千トン/年) **12%減**



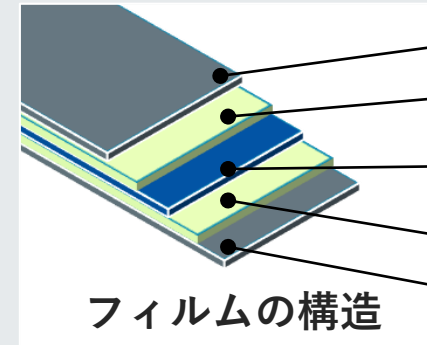
平成20年度 平成29年度

食品に悪影響を及ぼす要因を多層構造で遮断する「食品容器用フィルム」



消費期限延長

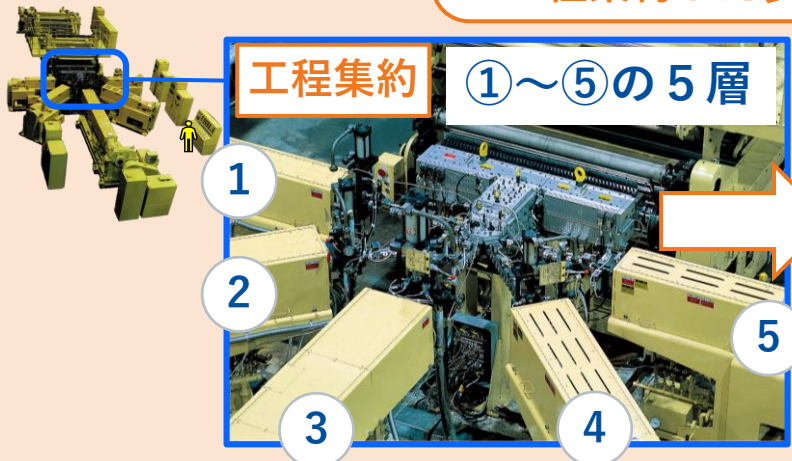
鮮度保持



- 食品&人体への安全確保
- 接着&悪影響の要因を遮断
- 強度確保&構造維持
- 接着&悪影響の要因を遮断
- 食品&人体への安全確保

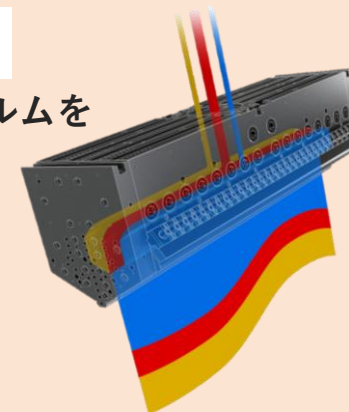
多層フィルム押出成形機

工程集約した多層同時成形による生産性の向上で普及に貢献

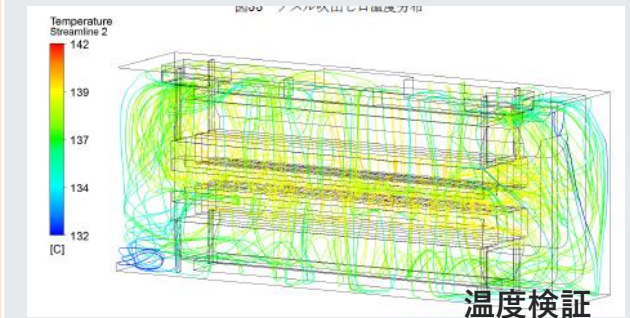


多層ダイ

複数のフィルムを
一体で作る。



ノウハウとシミュレーション技術



食品向けに保存性や利便性を高めたフィルムをつくり、暮らしを支えてきました。

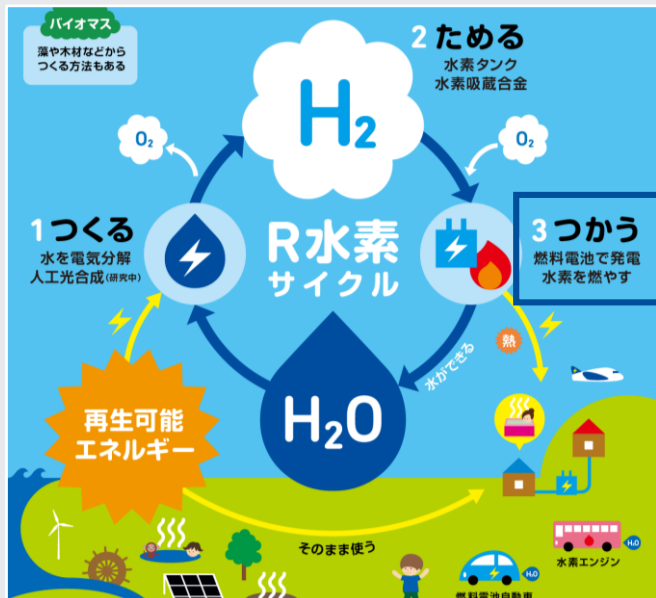
過去からの取り組み 循環型社会に向けた水素活用への貢献

脱炭素



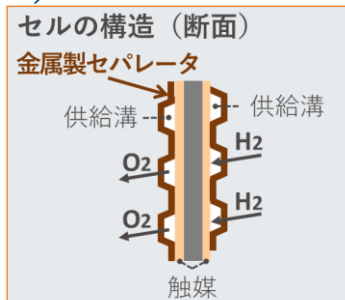
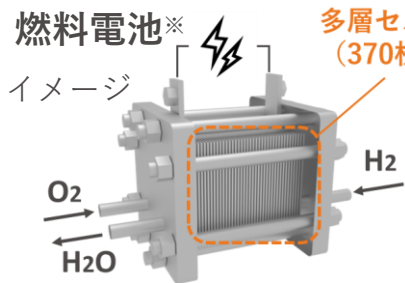
Shibaura Machine

水素を活用した循環型社会

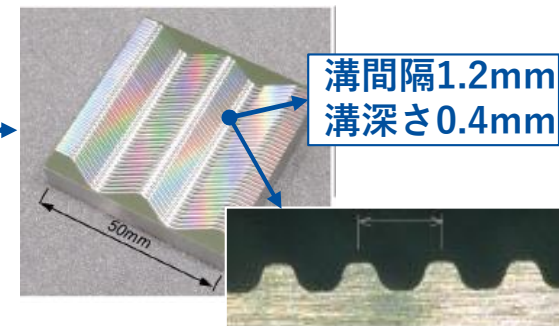


※水素と酸素の化学反応から電気を発生させる装置

つかう①水素燃料電池 (FCV)



セパレータ成形用金型



【普及の課題】

生産性の高いプレス成形に、高精度な金型加工が必要

つかう②タービン発電

従来の火力発電を応用、水素を燃料として使用することで火力発電ながらCO2排出を削減できる。

大型超精密加工機



1/1000mm単位の加工を実現

燃料電池の高性能化を実現する技術

高い回転精度

エアスピンドル



高い制御分解能

V-Vころがり案内



工程集約 (加工 + 検査)

高い生産性

機上測定システム



世界最高精度を実現する独自技術で超精密部品の生産を可能にしている

高精度な加工技術で水素社会の実現を支え循環型社会に貢献してきました。

過去からの取り組み 創エネの効率化への貢献

LCA

脱炭素



Shibaura Machine

暮らしを豊かにするエネルギーインフラ

創エネ		
太陽光	水力	アンモニア
火力	地熱	合成燃料
原子力	波力	バイオマス
風力	水素	

例えば
→

風力発電



水力発電

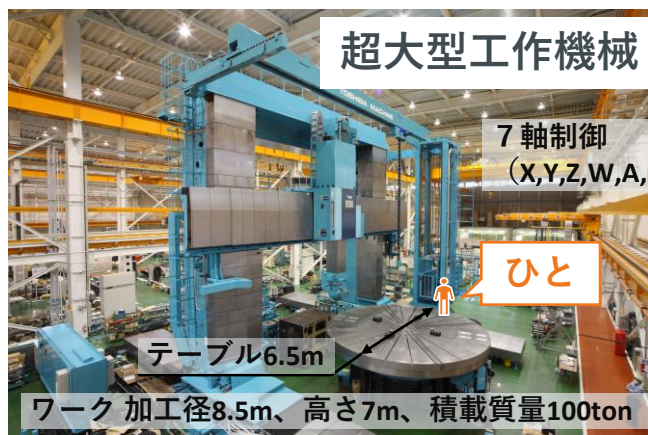


増速機、タービンなどの加工など複雑な加工に対応するに高精度高剛性な超大型工作機械

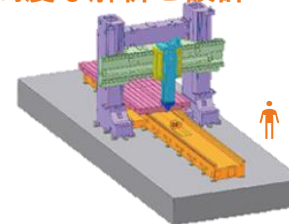
創エネの効率化に貢献

CO2削減

再エネ



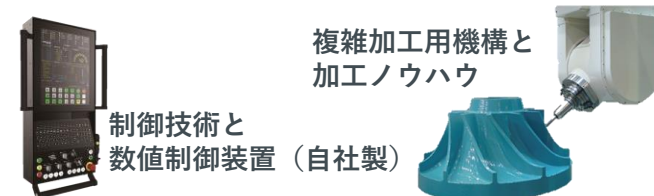
デジタル技術による
高度な解析と設計



超大型部品製作の製造技術



複雑な加工を実現する制御技術と機械・ノウハウ



より効率よく電力を創り出し、理想の創エネ実現することで脱炭素社会に貢献してきました。

過去からの取り組み LiB^(*1)量産への貢献

脱炭素



Shibaura Machine

電池の歴史 当社は'80年代から電池向けセパレータ[※]製造で貢献

※正極と負極を切り離しながら、イオン電導性を確保する部品

'80年代 '90年代 2000年代

○アルカリ電池

○鉛蓄電池

○マンガン電池

○ニッケル水素電池



ガソリン車



懐中電灯



音楽プレーヤー

現代

○LiB

大容量

コンパクト



スマホ



ハイブリッド車

期待される用途

電気自動車の普及

→脱炭素

再エネの蓄電

→スマートグリッド



LiBの課題

生産量拡大

→需要増加の対応

充電容量拡大

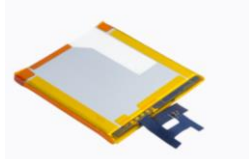
→部品の薄肉化



フルラインで提供するセパレータ製造装置

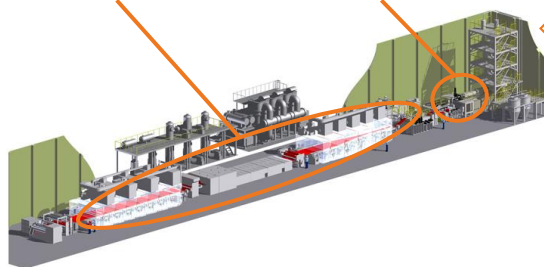
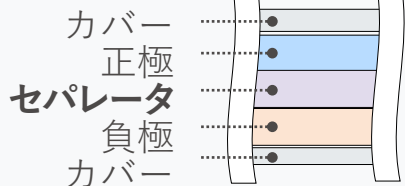
押出成形、印刷機械のすべてを融合した技術

LiB (ラミネート型)

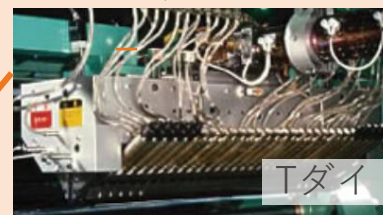


フィルム製造装置 二軸混練機

断面図



膜厚、幅の制御



Tダイ

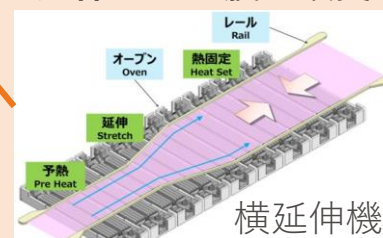
原料の混練(分散)



二軸混練機

融合

延伸による膜の改質



横延伸機

LiBの量産化を実現し、脱炭素社会に貢献してきました。

過去からの取り組み 産業の省エネ化への貢献

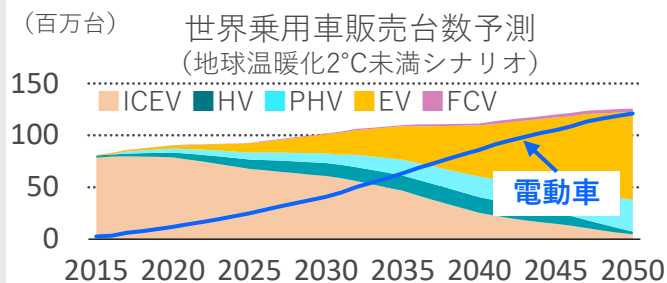
LCA

脱炭素



Shibaura Machine

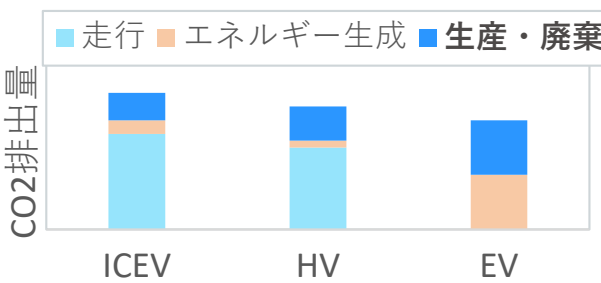
自動車の電動化によるCO2排出削減



※ICEV: Internal Combustion Engine Vehicle 参考) IEA

今後は
LCA視点の
削減が必要

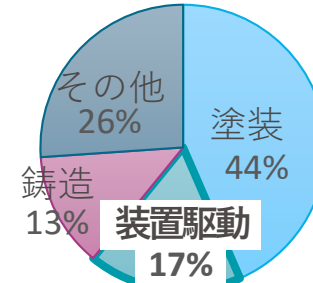
自動車の製造でもCO2削減が必要



参考) 日経XTECH 2019/9/6

産業機械のCO2排出削減が必要

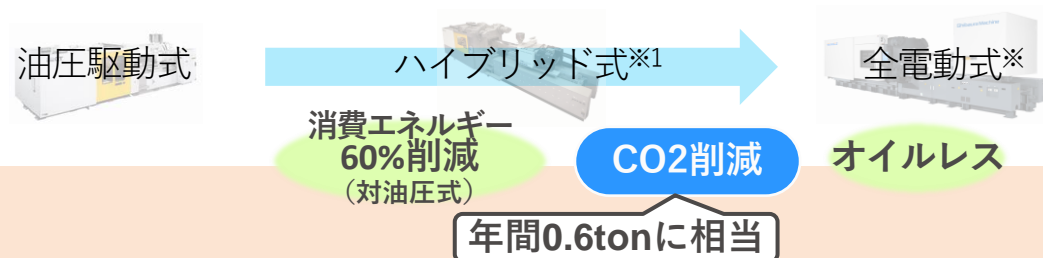
生産過程の
CO2排出比率



参考) トヨタ「トヨタチャレンジ2050」

射出成形機

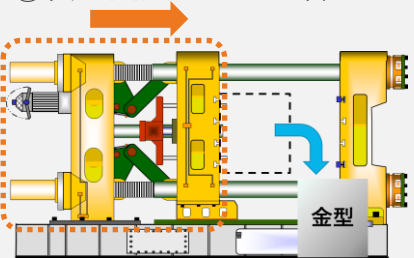
当社機の歴史 - 電動化 -



※1. 電気と油圧で動く
※2. 電気のみで動く

製造過程の排出削減 - 金型交換時の予熱時間短縮 -

② 次の金型サイズに合わせてモータ駆動で移動



従来機より高速
= 時間短縮

待機電力の削減

▲1.6kWh
(56%減)

CO2削減

年間0.5tonに相当

ダイカストマシン

マシンの小型化



▲2215mm
(29%短縮)

電動機サイズ 10%減

作動油量 40%減

消費エネルギー
42%削減

CO2削減

年間11tonに相当

自動車の製造工程におけるCO2削減により脱炭素社会に貢献してきました。

過去からの取り組み プラスチック製品リサイクルへの貢献

LCA

脱炭素

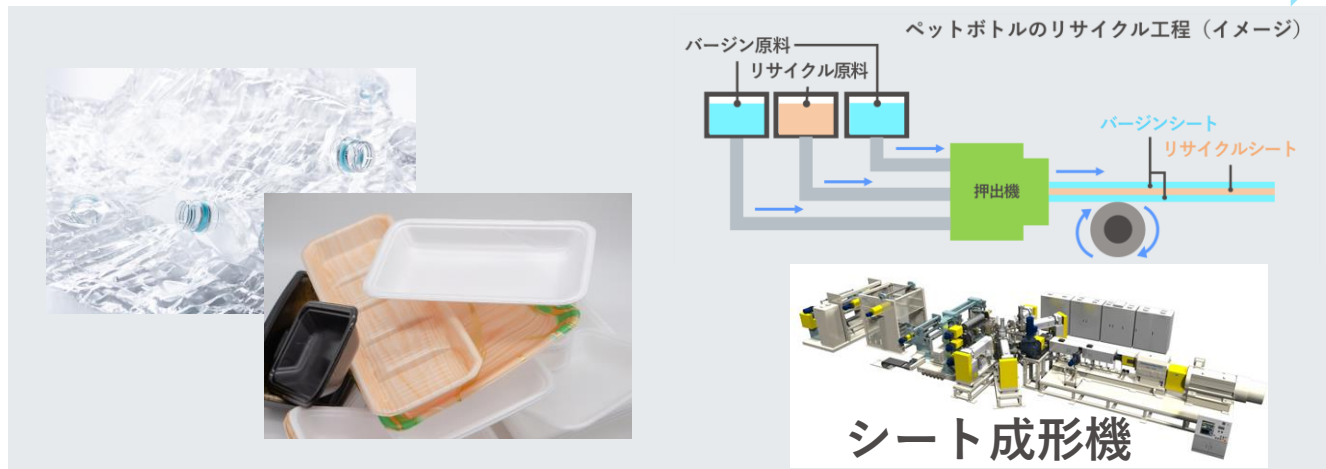


Shibaura Machine

廃材から直接生産

再生品

食品容器

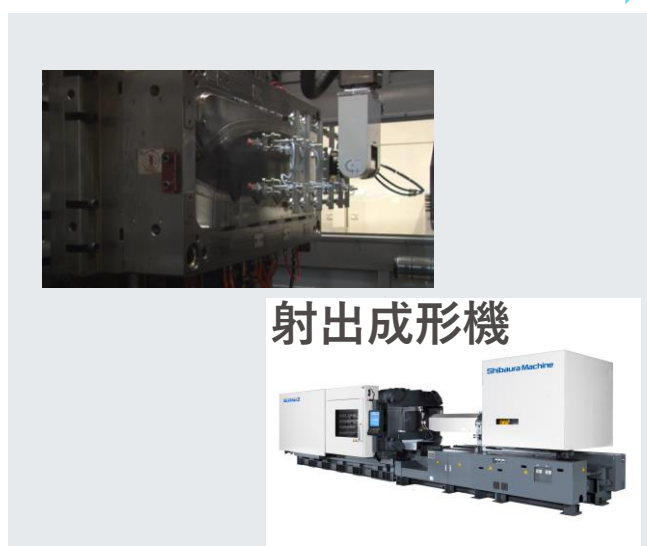
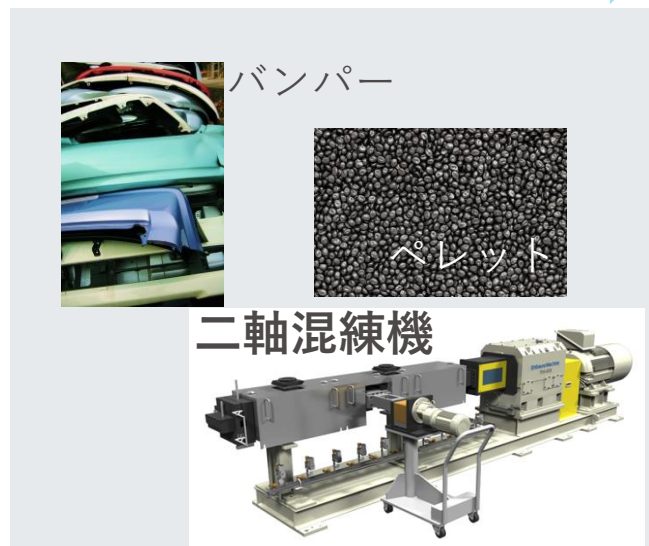


廃材からペレット再生

再生ペレットから生産

再生品

自動車



限りある資源を有効活用することで環境負荷低減に貢献しています。

過去からの取り組み リサイクル材を活用した鋳物製造

LCA

脱炭素

12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
関係する目標を



Shibaura Machine

23

鉄鋼プロセス

鉄の原料



精錬

鉄



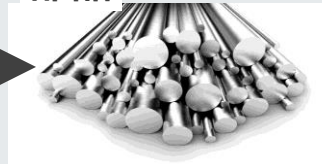
CO2排出量と電気消費量大きい

・材料として

・圧延・加工

削りカス

部品



再資源化
リサイクル材



廃材を利用し、
CO2排出量削減に貢献

鋳造工程

CO2削減

リサイクル材の利用率 70%

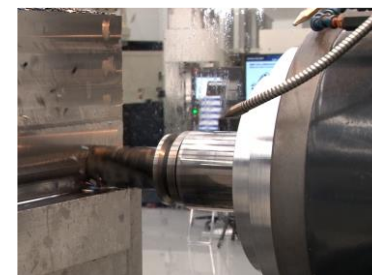


材料を使いこなす
ノウハウ

リサイクル材の活用

加工くず

このままでは再利用できない



リサイクル材を鋳物製造に活用することで、環境負荷低減に貢献してきました。

これからの取り組み 将来を見据えた開発

LCA

脱炭素



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



13 気候変動に具体的な対策を

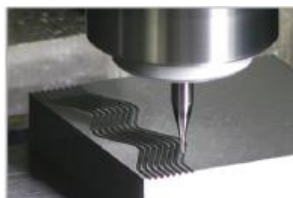
Shibaura Machine

24

新しいものづくりのかたち

切削

材料の塊を削り、形作る



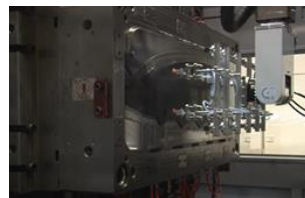
工作機械



超精密加工機

成形

金型に材料を流し込み、形作る



射出成形機



ダイカストマシン



Additive Manufacturing

CO2削減

3Dプリンターによる積層造形技術を活用して形作る



金型レス

材料節約

コンパクト

どこでもつくれる

金属 3 D 積層造形装置



造形の様子

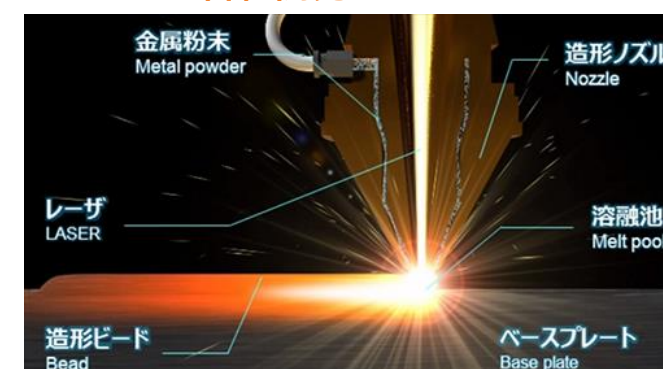


製品例

航空機部品 (模造品) ※造形後、工作機械で加工



自社開発のノズル



高速積層

高精度積層

大型品対応

あたらしいものづくり、製品の実現による環境負荷低減に貢献していきます。

これからの取り組み 将来を見据えた開発

LCA

脱炭素



Shibaura Machine

25

次世代通信への期待

— 電子端末 —



高速大容量通信

低遅延

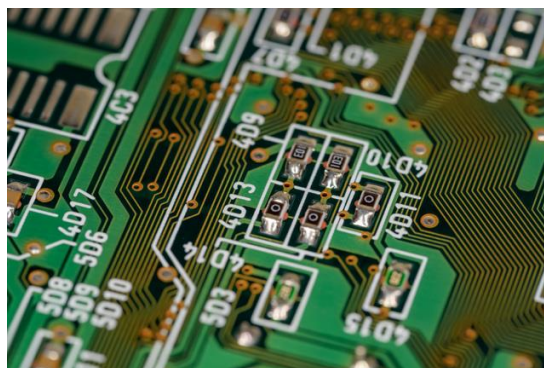
多数同時接続

自動運転—



重要部品

— 半導体基板 —



ICチップを保護したり、
電気信号を伝達する役割をもつ

もとめられる仕様

微細化

信号伝達の低遅延

課題：回路形成のための下処理

配線をベース材表面につけるために…

処理例1

ベース材表面を粗くする

配線 配線

ベース材

処理例2

触媒を設ける

配線 配線

ベース材

小型化困難

信号伝達の遅延

成膜装置

改質処理を含めた金属膜形成

CO2削減

触媒フリー



平滑面に高密着

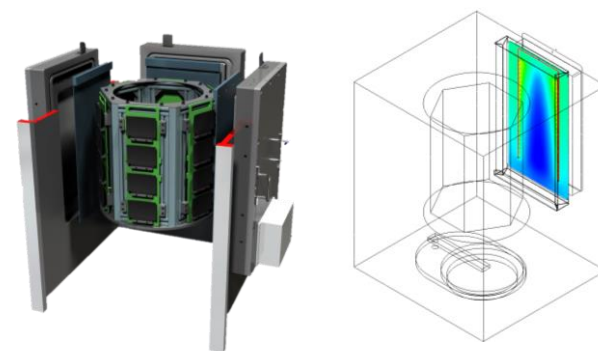
成膜例

成膜後の回路形成 (模造品)



プリント基板に高密着の配線膜
微細な回路形成が可能

シミュレーション技術とシステム制御技術



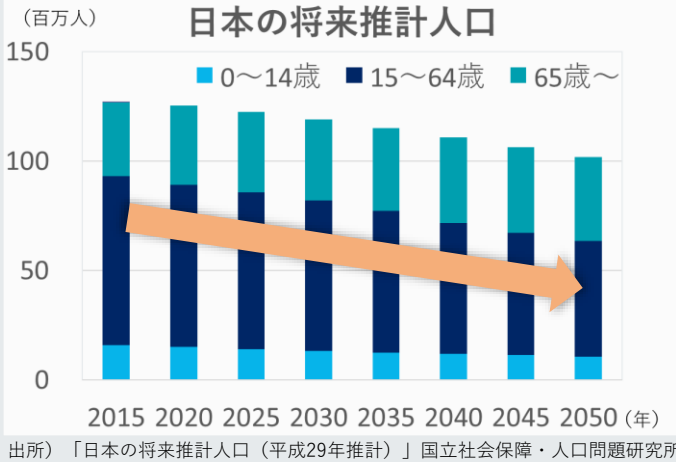
均一な金属膜を生成するために
最適な成膜条件を確立

あたらしいものづくり、製品の実現による環境負荷低減に貢献していきます。

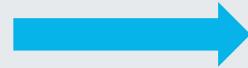
これからの取り組み ひとと共に働く自律協調ロボット



生産年齢人口の減少



ロボットによる自動化が有効であるが...



現代の生産ラインと課題

- ・ロボットを動かすために**専門技術が必要**、人が巻き込まれないように**安全柵を設置**
- ・ロボットは**所定のルート**を移動し、**決められた作業**をこなすため**応用が利かない**



立上に時間がかかる

単純動作・作業



ヒト協調ロボットの開発

安全柵がなくても、人が安全に作業できる



次世代の生産ライン (イメージ) とロボット開発

- ・与えられた作業を**自ら学習**し、**安全柵なし**で人と協調して作業する
- ・所定の**エリア内**を**移動**し複数の作業をこなせるため、応用が利く

立上時間の削減

複数動作・作業

移動機能付き
双腕生産支援ロボット



共同開発

ソフトウェア開発

静岡大学 東洋大学
東京都立大学

ロボット開発

Shibaura Machine

※NEDO助成事業「次世代人工知能・ロボットの中核となるインテグレート技術開発」採択プロジェクト

ひととロボットが共生する社会の実現により「新しいはたらき方」に貢献していきます。

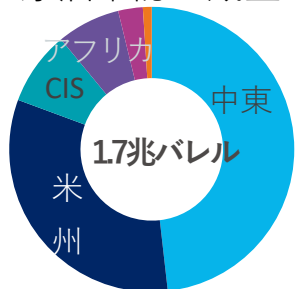
これからの取り組み 素材の環境負荷低減への貢献



プラスチックに関わる問題と対策

資源の枯渇

原油確認埋蔵量※



50年後
枯渇

製造困難



※出所) 資源エネルギー庁

<https://www.enecho.meti.go.jp/about/whitepaper/2019html/2-2-2.html>

海洋汚染・生物への悪影響



海岸に打ち上げられる
プラスチック



マイクロプラスチック

これからは



原油の代替となる
新たな資源が必要。
例えば、

鉱物

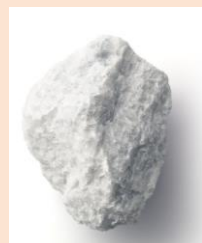
バイオ

LIMEX (ライメックス)

【特徴】

- ・ 主な原料は石灰石
- ・ プラスチックと同様の成形が可能
- ・ 石油資源の保全、CO2排出削減に貢献

TBM × 芝浦機械



石灰石

日本でも100%
自給自足できる
鉱物資源

フィルム製造装置



シート製造に貢献



製品例

CNF

(セルロースナノファイバー)

【特徴】

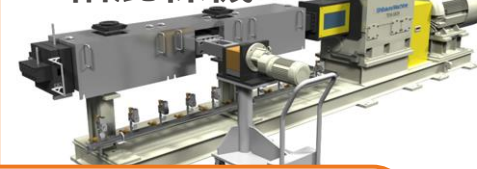
- ・ 主な原料は植物
- ・ 環境負荷が小さくリサイクル性に優れる
- ・ 軽量で、高強度材料

大王製紙 × 芝浦機械



植物 (木材 etc)

二軸混練機



製品の原料製造に貢献



製品例

※NEDO助成事業「炭素循環社会に貢献するセルロースナノファイバー関連技術開発」採択プロジェクト

脱石油由来の素材製造により環境負荷低減に貢献します。

これからの取り組み 深紫外LEDできれいな水を届けるために



社会課題

ヘルスケア（滅菌・殺菌）が解決できる世界がある



今、安全な水を手に入れられない人は、世界で**6億6,300万人**にのぼります。

毎日、**800人**もの子どもが、汚れた水や不衛生な環境が原因で命を落としています。

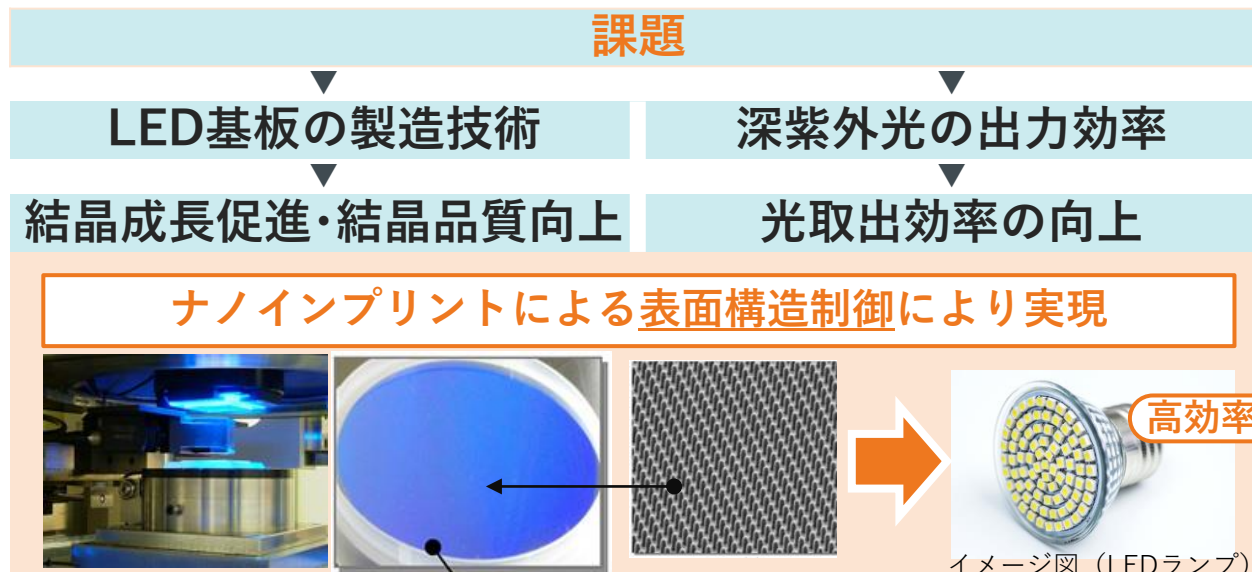


出典：ユニセフ

課題

「きれいで安全な水をつくる」

ウイルスや細菌を不活化できる深紫外光を発するLEDの性能と生産性を向上させる。



誰もが生きていくために必要な水を、誰もが手に入れられる社会の構築に貢献していきます。

いままでも、これからも。 芝浦機械はカーボンニュートラルの広がり に貢献します

LCA

脱炭素

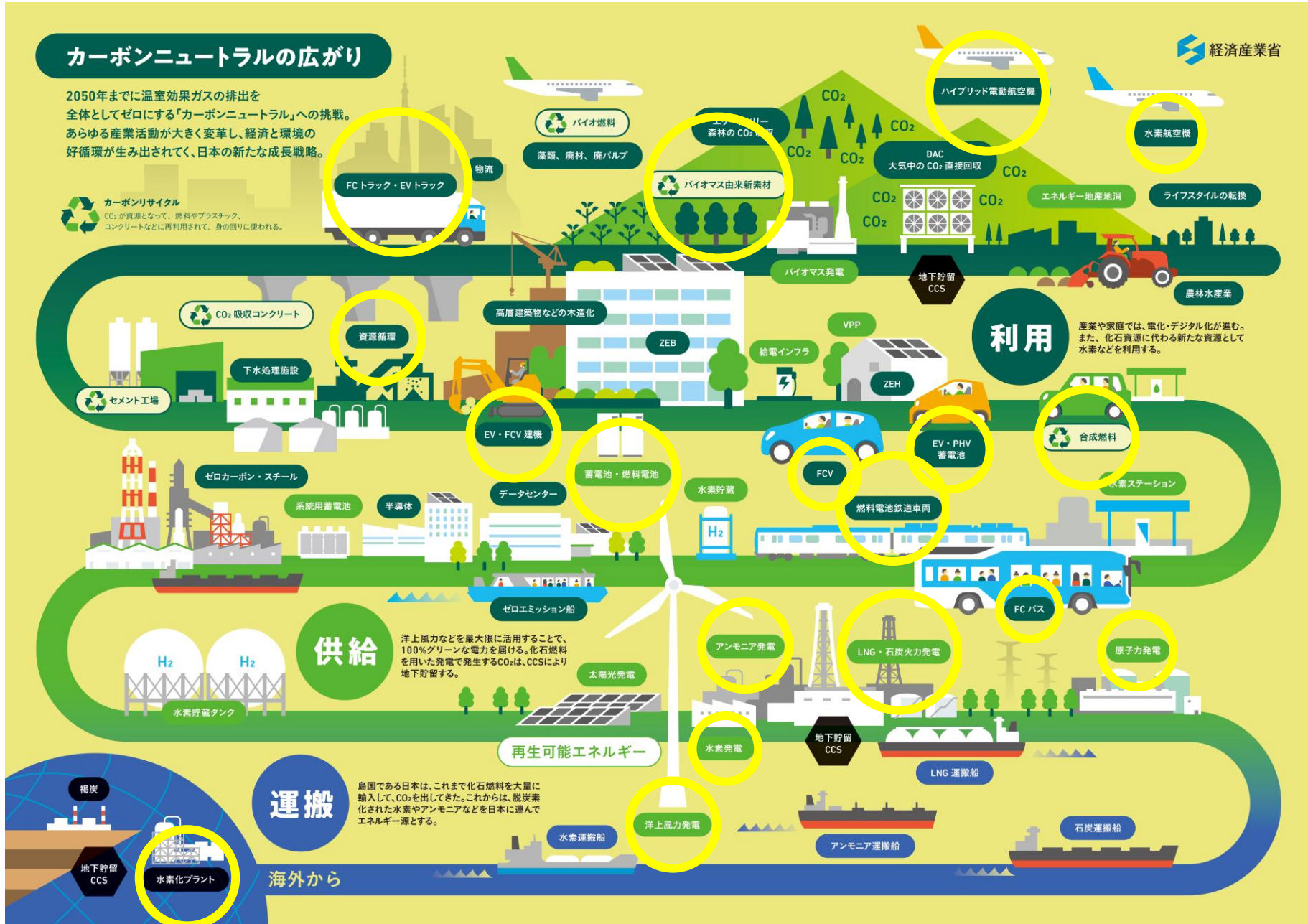
Shibaura Machine

カーボンニュートラルの広がり

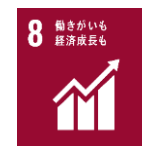
2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「カーボンニュートラル」への挑戦。あらゆる産業活動が大きく変革し、経済と環境の好循環が生み出されてく、日本の新たな成長戦略。

カーボンサイクル
CO₂が資源となって、燃料やプラスチック、コンクリートなどに再利用されて、身の回りに使われる。

経済産業省

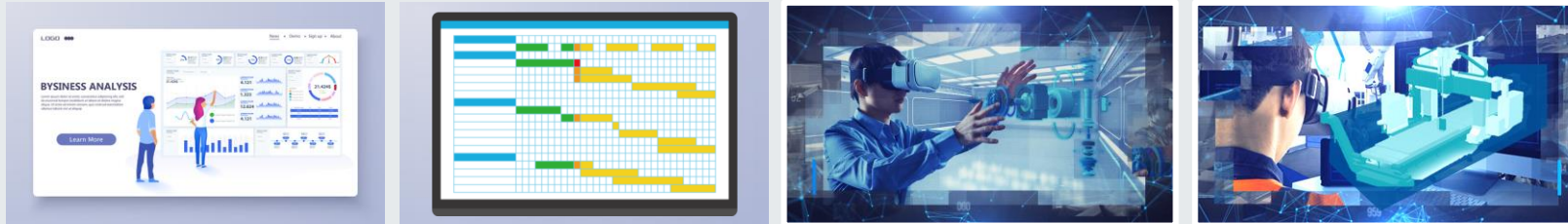


SHIBAURA DXが実現する 価値創造と新しい働き方、新しい暮らし方



SHIBAURA DX

DXが実現するもの



マーケティング

商品開発・技術開発

製品設計

生産設計

①検証お客様との合意形成まで、バーチャル空間で実現

②リアル空間で得たデータが新しい商品開発に反映

リアル

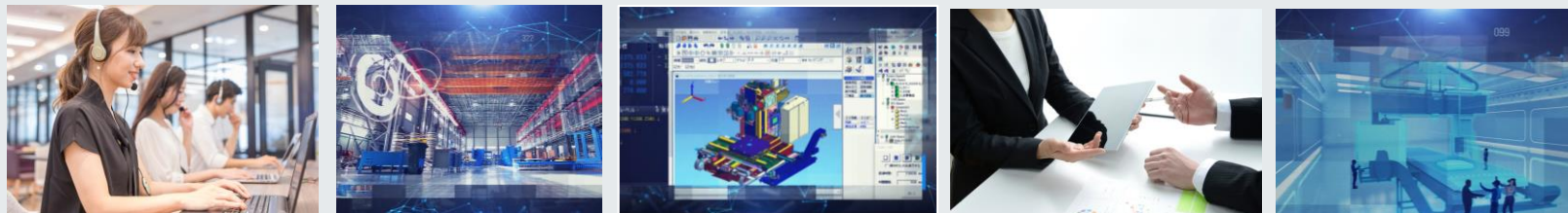
バーチャル

販売・サービス

生産

製品プレビュー

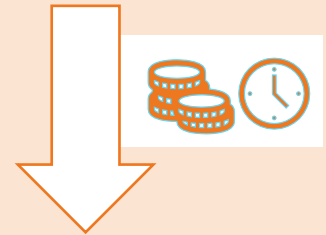
製品検証 (製造・保守)



リアルとバーチャルが融合した空間を実現

効率UP

収益UP



あたらしい
はたらき方

あなたらしい
暮らし方

SHIBAURA DXはデジタル情報でものづくりをつなぎ新しい社会を実現します



社会・環境、ステークホルダーの皆様が必要とされ、 共に価値を創る企業を目指します。

私たちは創業以来、「モノづくり」を通じて社会に貢献することで進化を続けてまいりました。今後もそこで培われた技術・開発力、QCD、営業・サービス力を基盤とした商品力を維持しながら、時代の変革やさまざまなリスクを乗り越え、お客様と共に未来を見つめて進化し、永続的に必要とされる企業を目指してまいります。

また、コーポレートガバナンスを一層充実させ、さらなる企業価値の向上を図るため、当社は監査等委員会設置会社へ移行しました。

当社グループは、国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」で示された社会が抱える問題に、事業活動を通じて貢献できるよう努めることで持続可能な社会の発展に寄与し、豊かな地球環境を守るべく企業としての役割を果たしてまいります。

加えて、ステークホルダーの皆様のご期待やご要望に応え、信頼を得ることが必要不可欠と考え、これからもよりいっそうの企業努力を続けてまいります。



芝浦機械株式会社 代表取締役社長
最高執行責任者 社長執行役員
坂元 繁友

Shibaura Machine

芝浦機械株式会社

〒100-8503 千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル4F

TEL (03)3509-0200 FAX (03)3509-0333 URL : <http://www.shibaura-machine.co.jp/>
